

## 生まれた日を呪う (1節)

ヨブ記 3:1 そのようなことがあった後、ヨブは口を開いて自分の生まれた日を呪った。

## 闇、暗黒を求め、光を忌み嫌う (2~10節)

ヨブ記 3:2 ヨブは言った。3 私が生まれた日は滅び失せよ。「男の子が胎に宿った」と告げられたその夜も。4 その日は闇になれ。神も上からその日を顧みるな。光もその上を照らすな。5 闇と暗黒がその日を取り戻し、雲がその上にとどまれ。昼を薄暗くするもの(日食)も、その日を脅かせ。6 その夜は、暗闇が奪い取るように。その日は、年の日々のうちで喜ばないように。月の日数のうちにも入れないように。…9 その夜明けの星は暗くなれ。光を待っても、それはなく、暁のまばたきを見ることがないように。10 その目が、私をはらんだ胎の戸を閉ざさず、私の目から労苦を隠してくれなかったからだ。

- 「うつ症状」

## 生まれてきたことを悔やむ「生まれて来なければ良かった！」(11, 12節)

ヨブ記 3:11 なぜ私は、胎内で死ななかったのか。胎を出たとき、息絶えなかったのか。

## 死を願うヨブ：死への憧れ (13節~19節)

ヨブ記 3:13 今ごろ私は安らかに横になり、眠って安らいでいただろうに。17 死んでしまえば、悪い者ももう人に迷惑をかけず、疲れきった者も休むことができる。18 囚人も、残忍な看守から解放されて安らぎを得るのだ。19 死んでしまえば、金持ちも貧しい人もない。奴隷でさえ、自由の身となる。(リビングバイブル)

- ヨブの思いの中で、死が美化されて描かれている。

## 死への憧れ \_\_\_\_\_ 願望

- それは絶望から来る。

## 死ねない苦しみ「なぜ苦しみながら生きなければならないのか！」(20~22節)

ヨブ記 3:20-21 なぜ、悲惨な境遇にある者に、光といのちが与えられているのか。彼らは死にたくても死ねない。人が食べ物や金品のことで目の色を変えるように、ひたすら死を求めているのに。22 思いどおり死ねたら、彼らはどんなに安らかだろう。

## 八方塞がり (23節)

ヨブ記 3:23 行くべき道が隠されている者の前を神はなお柵でふさがれる。(新共同訳) Job 3:23 Why is life given to those with no future, those God has surrounded with difficulties? [NLT]

ヨブ記 3:24 私から出るのはため息ばかりで、食事ものを通らない。うめき声は水のように止めどなくあふれている。

ヨブ記 3:25 私がおびえていたもの、それが私を襲い、私が恐れていたもの、それが降りかかったからだ。26 安らぎもなく、休みもなく、憩いもなく、心は乱れている。

## 「死を願うとき」

- 大いなる誘惑だ。サタンは人を神から切り離し、絶望の崖っぷちへと追いつめる。  
Cf. イスカリオテ・ユダの場合のように。
- **サタンは人を死へと追いつめる。**

## 自殺の心理とは？

## 嘆きを \_\_\_\_\_ にかえて神にぶつける！

1 ペテロ 5:7 あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。

## 信仰とは？「目に見えない神」を捉える力。

へブル書 11:1 信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。

- Cf. 嵐、台風、大雪の日でも、雲の上では太陽は輝き続けているように！神の愛は変わらない！

## 信仰があるところに \_\_\_\_\_ が生まれる！

ローマ書 5:3 そればかりではなく、患難さえも喜んでいます。それは、患難が忍耐を生み出し、4 忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと知っているからです。

## そんなとき、 \_\_\_\_\_ に思いをはせる必要がある

- **サタンは平気で \_\_\_\_\_ ！**

## 苦しむ者の言葉に耳を傾ける

- 人が語る言葉と、そう言わしめているその人の心の違い。彼(女)の本心をくみ取る必要がある。